

# ふるさと納税を増やすには？

## 町長 情報発信を広げる



吉原 美智恵 議員



ふるさと納税を説明するパンフレット

【吉原】ふるさと納税は、税法改正で創設された寄付制度である。本町も工夫をこらし、寄付を集める努力をしてはどうか。

【町長】本町出身の関係者にパンフレットを配り、寄付の件数も年々増加している。今後、いっそうの取り組みを進めたい。

【吉原】自主財源の少ない本町にとって、熱意と努力が必要な事業ではないか。

【町長】情報発信をいろいろ広げ、工夫していく。また、町との縁ができることで、滞在人口が増加する可能性や、お礼としての大山恵みの里公社の産品売り上げも伸びるのではないかと考えている。

# 破損した看板の更新は？

## 町長 観光協会で修繕



圓岡 伸夫 議員

【圓岡】大山寺周辺はかつて整備されていた案内看板も、現在は観光客のために十分に整備されていない。朽ちた看板を見れば、まるで「兵どもが夢の跡」のようだ。

この秋のエコツーリズム国際大会に向けて老朽化した説明看板や標識を新しくし、英語表記をあわせて設置すべきではないか。

【町長】破損したときの修繕は、設置者の責任とするもの。設置者がなくなつた場合は、観光協会の各支部の事業として修繕しているが、できないものは町でも対応している。

国際大会を行うからということではなく、新設・改修の際には少しずつローマ字表記の対応をする。

【圓岡】県が平成13年に発行した冊子に、風力発電の撤去工事には建設費の3分の1程度がかかることある。太空海号も建設されて10年を迎えるが、今後は解体・撤去も視野に入れた予算編成をすべきではないか。

【町長】今年度は建設費を償還しながら、600万円を撤去費用のために積み立てることができると試算している。

平成34年には、積み立て額の累計が約1億1600万円に達し、解体・撤去に必要な金額を上回る予定である。

# 太空海号の撤去費は？



環境にやさしい町のシンボル(太空海号)

## 町長 積み立て金で可能

【町長】今年度は建設費を償還しながら、600万円を撤去費用のために積み立てることができると試算している。

平成34年には、積み立て額の累計が約1億1600万円に達し、解体・撤去に必要な金額を上回る予定である。

# 英語教育の取り組みは？

## 教育委員長 授業改善に取り組む

【吉原】小学校での英語教育は、現在、5年生・6年生で必修化されている。

本町での取り組みは県内でも進んでいるが、現状でよいのか。

【教育委員長】本町では、早くから小学校にもALT(外国語指導助手)を派遣し、英語活動に意欲的に取り組んできている。

小・中学校の連携をさらに進め、授業改善に取り組む。

【吉原】小学生から中学生になったとき、苦手科目になってしまう問題や、得意であったも自国の歴史が語れないなど、本当の意味で



ALTによる外国語活動(名和小学校)

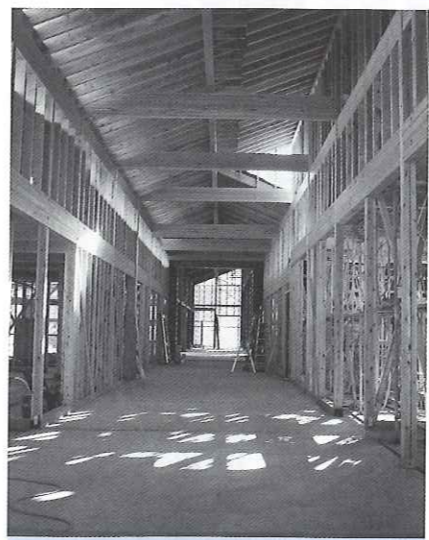
のグローバルな人材が育っていない現実がある。地域の人材も活用して大山町版の英語村をつくってはどうか。

【教育委員長】ALTの委託先や地域の人にも協力を願う、考えてみたい。

また、基本は日本語であり、自国の文化が語れる人材を育てていく。

# 町の管理能力は？

## 町長 設計事務所へ委託



工事中の中山みどりの森保育園(当時)

【圓岡】行政は、発注者として監理をする能力が十分あるとは思えない。5億円を超えるお金を使うのだから、工事の期間中だけでも資格や能力のある人を配置することはできないか。

【町長】名和拠点保育所のような規模の工事を監理するには、1級建築士の資格が必要だが、本町にはその資格を持つ職員はいない。

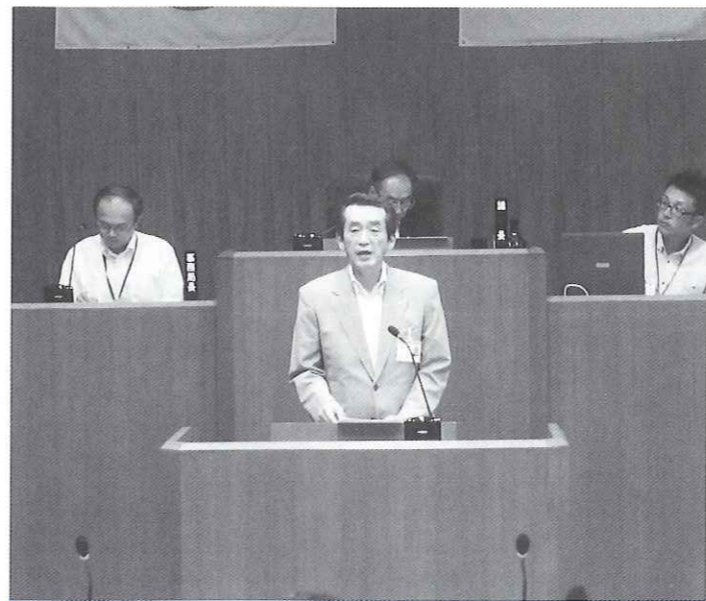
資格を持つ設計事務所等に工事監理業務を委託し、適切な工事が行われるよう、万全を尽くす。



【米本】たいへん嬉しい選挙戦を僅差で勝利した森田町長の手腕に、町民が期待を寄せられている。町民の約半数は、この4年間の森田

## 選挙公約は？

町長 着実に実行する



公約の実現に取り組む森田町長

町長の行政執行に疑問を持っている。この人たちにも納得してもらえなかり取りが必要になると思うが、選挙戦の感想は。

【町長】半年にもおよぶきびしい選挙戦であった。知名度のある候補者同士という状況の中で、それを反映した結

果だと思う。掲げる政策も類似したもので、最終的にはどちらに担わせるかであったと思う。

選挙の公約は着実に実行していく。今回の補正で予算化したものもあるが、各課に指示し、その取り組みを進めている。検討段階のものもあるが、随時公表していく。

## 公社は補助金頼みでは？

町長 全体の収支で低減する

【米本】森田町政2期目の大きな課題として、大山恵みの里構想の推進がある。しかし、多額の補助金に頼る公社の運営には問題もある。

公社の設立目的や加工施設の役割など、再度検証する必要がある。どのような運営をめざすのか。

【町長】公益事業は公社の目的に照らし、補助金を財源とすることには、意義があり継続する。

収益事業では、委託販売は、ほぼ横ばいで推移している。生産者との計画生産・計画出荷の仕組みづくりを考

産物処理加工施設は、収益性向上に引き続き取り組む。自社製品の開発や既存の商品力を強化し、販売拡大をはかる。

ただし、現在の加工所の問題から黒字化はきわめて困難である。公社全体の収支で補助金を低減するように努める。



業務にはげむ公社職員

## スポーツによる元気なまちづくり対策は？

教育委員長

スポーツ基本法を軸に



大杖 正彦 議員



スポーツで心身をきたえる

【大杖】スポーツは、人々に夢や希望・感動・勇気を与える世界共通の文化である。

スポーツに親しむことは、健康増進だけでなく、住民同士の連帯感を育み、まちづくりの機運を高めることが期待できる。

スポーツによって本町を元気にする取り組みは。

【教育委員長】平成23

年に制定されたスポーツ基本法にもとづき、総合計画に「生涯スポーツ活動の推進」を掲げている。

スポーツを楽しむ環境の充実や活動組織・団体の育成などをめざしている。体育施設の充実・参加しやすいスポーツイベントの開催・総合型スポーツクラブの育成など、いろいろな施策を行っている。

## 大山の観光振興対策は？

町長 広報・宣伝活動を重視して

【大杖】大山の美しき・豊かな自然・歴史を本町の観光振興に生かすべきだ。周辺市町村との連携の具体的な取り組みは。

【町長】伯耆町・江府町・鳥取県と組織する「大山サミット」、大山山麓7市町村で組織する「大山山麓観光推進協議会」、「大山中海エコツーリズム協議会」など、いろいろなレベルで連携をはかり、情報発信を中心に広報・宣伝活動を行っている。

本年度、観光庁の補助事業の「魅力ある観光地の再建・強化事業」に「大山」が採択された。大山観光局が

大手観光エージェントなどと連携して大山圏域を一体的に見直す取り組みを行う。



大山の自然を満喫する観光客



岡田 聡 議員

【岡田】森田町政2期目のスタートとなった。保育料の無償化は。

## 2期目の施政方針は？

町長 安心して暮らせるまちづくりに取り組む

【町長】国の子ども子育て支援新制度と一体として、平成27年度からの実施を期待している。

【岡田】大山恵みの里公社の経営安定化策は。

【町長】町内産の新鮮な野菜類は大山ブランドとしての評価が高い。需給調整と出荷量・出荷品目の拡大を考える。

【岡田】大山恵みの里プランの民間活力の活用は。

【町長】計画は町の経済活性化計画であり、事業者や生産者の積極的な参画と実践、努力が不可欠である。

【岡田】人権尊重のまちづくりのさらなる工夫は。

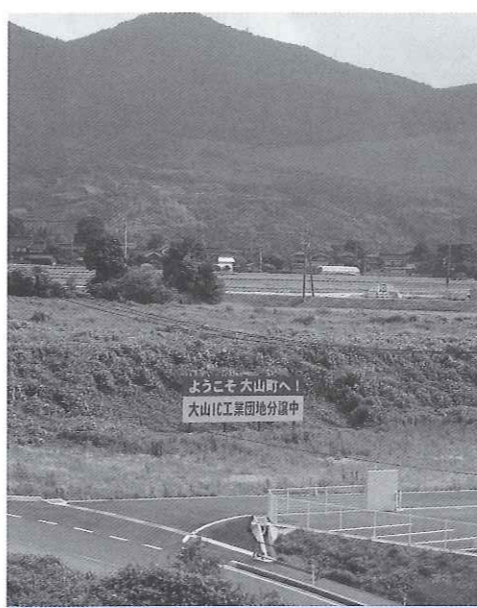
【町長】さらに学習・啓発活動を進めていく。

【岡田】津波避難経路などの点検整備は。

【町長】アンケート調査の結果をもとに、海抜表示の追加設置や避難経路の危険箇所の確認と整備を進める。

【岡田】雇用の創出は。

【町長】独自の企業誘致活動や雇用創出支援交付金制度の創設などを行う。



雇用創出に期待する企業誘致

## 安心できる国保政策は？

町長 納期回数の見直しを検討する



大森 正治 議員

【大森】国保加入2908世帯のうち所得100万円未満は58%、所得ゼロは36%もある。

半数が、法定軽減世帯。国保税の滞納は税の中で最多である。この実態から、国保税の過酷さがわかる。4300万円の国保基金を繰り入れれば、税率・税額ともすえ置くことができた。なぜ一人平均9500円もの引き上げを選択したのか。

【町長】増加する医療費に対応し、国保事業の安定的運営のためには、基金からの繰り入れは最小限に抑えるべきだ。

【大森】逆に、国保税の引き下げはできないのか。

【町長】一般会計からの法定外繰り入れは、基本的にすべきでないと考えている。

【大森】国保基金残高1億円にこだわる理由は。

【町長】厚労省からの通知による。

【大森】国保税を納付しやすく、8期にすることは。

【町長】国保運営協議会の答申をふまえて、納期の見直しを検討する。



国保を担当する住民生活課

## 詐欺にあわない啓発活動は？

町長 早めの情報提供で未然に防ぐ



遠藤 幸子 議員

【遠藤】消費者トラブルは多様化している。深刻な被害も発生しているが、気軽に相談できる場所はあるか。

【町長】県下では、NPO法人に専門員を委託、窓口を充実させる取り組みが行われている。西伯郡の4つの町村でも専門員を置いて、窓口を充実させる考えで、協議・検討している。

【遠藤】被害の情報提供や啓発活動は十分か。

【町長】巧妙な手口の被害事例もあるので、早い情報提供で被害防止をはかる。福祉介護課・社会福祉協議会・集落のいきいきサロンなど、関係者の協力をえながら、情報提供をする。



相談窓口のある住民生活課

## 大山電機の再就職は万全か？

町長 見通しが立った

【大森】パナソニックの一方的なカーナビ発注打ち切りの通告によって、大山電機は閉鎖を余儀なくされた。本町の誘致企業第1号、雇用や地域経済への影響を考えると、自治体としても見過ごせない。従業員全員の雇用確保をはかる必要がある。

【町長】パナソニックの一方的なカーナビ発注打ち切りの通告によって、大山電機は閉鎖を余儀なくされた。本町の誘致企業第1号、雇用や地域経済への影響を考えると、自治体としても見過ごせない。従業員全員の雇用確保をはかる必要がある。

【町長】まだ操業中のため、自由に求職活動ができる状況ではないが、かなりの人が再就職先にめどをつけていると聞く。

【大森】町当局の対策とその結果は。

【町長】ハローワークや県との連携、私自身も求人開拓に取り組んできた。その結果、本町の従業員24人に対し、それ以上の求人数がある。延べ20企業以上による説明会を2回開催、本町も独自に職業紹介できる資格を取得した。再就職を希望する全員に伝えることができている見通しがある。



閉鎖を余儀なくされた大山電機(所子地区)

# みなさんからの陳情はこうなりました

6月定例会で審査した陳情の委員会・本会議での採決結果を報告します。

| 陳情の内容  | 陳情者                                   | 委員会の意見・結果   | 付託委員会 | 本会議採決結果 |
|--|---------------------------------------|---|-------|---------|
| 地方財政の充実・強化を求める陳情                               | 自治労鳥取県本部<br>執行委員長<br>本川 博孝 他1名        | 地方の固有財源である地方交付税と地方財政計画は、地方交付税法第1条を基本として国と地方が十分に協議し決定すべき。地方自治体の役割が増大している中、地域の財政需要を的確に見積もり、地方交付税総額を確保することで、地方財政の充実・強化をはかることができる。全会一致で採択。                | 総務    | 採択      |
| 子ども・子育て支援新制度の導入に関する意見書提出を求める陳情書                | 鳥取の保育を考える会<br>会長 石井由加利                | 平成27年4月から本格施行するが、都会の待機児童などの解消を狙った制度と理解はするものの、認定こども園などの基準が定まっていない現状では結論は出せない。全会一致で継続審査。  | 教育民生  | 継続審査    |
| 日本のTPP（環太平洋連携協定）交渉への参加反対を求める陳情書                | 全日本農民組合<br>鳥取県連合会<br>会長 田中 宏          | 平成25年3月議会で不採択とした陳情で、その当時とは状況が変わり聖域は守れる保証がなくなったので採択すべきという意見と、農業者の利益を守る交渉をすべきというのなら理解できるが、はなから交渉から離脱すべきというのは現実的でないので不採択という意見に分かれた。採択2、不採択2で委員長採決により不採択。 | 経済建設  | 不採択     |
| 年金2.5%の削減中止を求める陳情                              | 全日本年金者組合<br>鳥取県本部<br>委員長 増田 修治<br>他1名 | 消費者物価指数に応じて給付水準を調整する物価スライドは、アベノミクスでも解消に至っていない長期のデフレで、消費者物価指数下落と年金との差が2.5%に拡大している。世代間の不公平感を緩和し、安定した持続可能な制度にしていくため削減は必要。全会一致で不採択。                       | 教育民生  | 不採択     |
| デフレ不況からの脱却と地域経済の振興に向けて最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める陳情 | 鳥取県労働組合総連合<br>議長 田中 暁                 | 長引くデフレ不況から脱却し、景気が上向くためには、労働者の賃金を引き上げ、家計の改善と日本経済を支える中小企業の経営安定が必要。最低賃金の引き上げや中小企業への経営支援策の拡充を求める。採択4人、不採択1人で採択。   | 総務    | 採択      |

# 討論! 賛否わかれた TPP交渉参加

※記名投票で  
**不採択**

【論点】  
 ・TPP（環太平洋連携協定）交渉に日本が参加することに反対するかどうか。

**質疑**  
 【西尾議員】  
 3月とは状況が変わり、聖域が守れる保証はなくなった。農業者の利益を守る交渉ならわかるが、交渉からの離脱は現実的ではない。  
 委員会では、賛成者・反対者のごちからも交渉に不安を持っている。  
 本町は農業の町、そのためのメッセージを出すべきではないか。

【岩井経済建設委員長】  
 女性議員の研修会で西川衆議院議員の講演を聞いた。3月とは状況が変わり、聖域が守れる保証がなくなったとは思わない。  
 【大森議員】  
 政府も守るべきは守ると言っているが、無理ではないかという話が多くなっている。本町ではどうなのか。内容面での議論はどうだったか。

【岩井経済建設委員長】  
 議論はしたが2対2になつて、最終的に現実的でない委員長採決で決した。

## 討論

【賛成…大森議員】  
 参加するメリットよりも、さまざまな危惧や懸念がたくさん明らかになった。国を守り大山町を守る。私たちの暮らしを子々孫々まで守るため、交渉に参加すべきではない。



TPP参加で農業のゆくえは

※記名投票とは?  
 採決で議員が投票用紙に賛否と氏名を記入し、投票すること。



- 賛成議員**  
 西野大 遠米  
 西山 尾昌 森本 藤岡

- 反対議員**  
 岡岩吉 近杉大 大加  
 田井原 藤谷杖 原藤

## 陳情

# 本会議での 質疑・討論

## 最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充

**質疑**  
 【米本議員】  
 各県ラスパイレス指数から物価水準にあった最低賃金が決まっていると思う。全国一律はなじまないのでは。  
 【杉谷総務委員長】  
 政府がいう国民の豊かな生活、年収を上げてデフレからの脱却は、最低賃金を引き上げること国民誰もが安心して暮らせる生活ができるのではないか。慎重に審査し採択した。  
 国もこのことを十分理解して、中小零細で働く労働者のために取り上げをほしい。

## 年金2.5%の削減中止

**討論**  
 【賛成】（大森議員）  
 2.5%削減するこの法案は物価スライド特例水準の解消を理由に成立した。しかし、高齢者の生活は当時よりもきびしくなっている現状がある。国民年金の受給者はわずかの年金で生活している。値上げが続き、来年4月から消費税も上がる。このようなときだからこそ採択すべきだ。  
 【反対】（野口昌議員）  
 未来永劫に続いて行かなければならない日本の年金制度。そのための措置として、物価水準に対して年金額の調整をするもので、年金財政を安定するためである。  
 【賛成】（岡岡議員）  
 年金は本町の年金受給者全体に対し、2.5%の削減で約1億8000万円が減額される。その結果、消費が減って地域経済に大きな影響を与える。

# 「議会だよりだいせん」が できるまで

教えて！  
発行まで  
どうなるの？

年4回の定例会ごとに発行している議会だより。では、どのように編集し、発行されているのでしょうか？議会活動や審議経過をお知らせする重要な情報誌。定例会終了後から発行まで1カ月を目標に編集に取り組んでいます。

今回は、広報常任委員会が編集する「議会だより」ができるまでをお知らせします。読みやすく、親しみのある広報誌となるよう、今後とも心がけていきますのでご愛読ください。

## 議会だより編集の流れ

### 第1回委員会

- 編集方針や紙面構成、記事の担当委員を決めます。

委員会のまとめ、一般質問の要約まとめ、写真の撮影

### 第2回委員会

- 特集記事の取材に出かけます。特集記事は6月と12月に掲載します。

### 第3回委員会

- 議員から提出された一般質問の原稿、委員会報告の原稿などを、読者にわかりやすくなるよう読み合わせを行い修正します。
- 委員が担当する記事の作成を行います。



編集作業をする広報委員

### 第4回委員会

- 表紙、裏表紙の写真の選定を行います。
- できあがった記事のチェックと未完成記事の作成を行います。



過去3号の議会だより

### 第5回委員会

- できあがったすべての記事を最終チェックします。

**完成！発行** みなさんの自宅へ配布します。

## ～議会広報の視察が続々と～

### 議会だよりを全国に発信



大和町議会が視察に来庁

5月21日に宮城県大和町議会の広報常任委員会、6月4日に福島県広野町の広報委員会が、大山町議会へ視察に来られました。「議会だよりだいせん」のこだわりを持った作成手法の説明、意見交換など、お互いの今後の広報編集のためになる有意義な研修になりました。7月・8月にも各2件ずつの視察受け入れが決定しています。

# 国民健康保険税条例 改正される

5月  
臨時会

平成25年第4回臨時会を5月31日に開催しました。

この臨時会では、国民健康保険税の引き上げで熱い議論が交わされ、原案通り可決しました。

## 税額

**【岡議員】**  
国保税額が高いという声が多くある。国の負担を現状より増やすよう求めるつもりはないか。

**【町長】**  
今後、検討していきたい。

**【野口議員】**  
国保税率改正で、平均して1人、また1世帯当たり、いくらの増額になるか。

**【住生活課長】**  
1人当たり、9500円の増額になる。内訳は所得増で4500円、税額改正が4500円であり、4人世帯で1万6000円程度となる。

## 基金の残高

**【西尾議員】**  
国保基金の残高は、5年前は約4億円あり、現在は約1億円。どのくらいが適正と考えるか。また、高齢化による医療費増への対処は。

**【町長】**  
安定した国保運営のため、1億円前後を確保する。国保の財政運営は国レベルでも大きな問題。国保会計の一本化、税額・税率改正についても検討する。

**【大森議員】**  
国保基金1億円が必要という根拠は。税額・税率ともすえ置くという選択はなかったのか。

**【住生活課長】**  
厚生労働省の通知によって、本町の基金規模が決まる。急激なインフルエンザ流行、高額手術が重なったとか、いざというときの対処に必要。税額・税率すえ置きは、将来に負担が先送りされ、問題がより深刻になる。

## 滞納

**【大森議員】**  
国保加入者世帯はきびしい家計状況にある。所得階層ごとの滞納額の実態は。

**【税務課長】**  
所得に応じて国保税の軽減(7.5・2割)制度がある。平成24年度に完納ができず、次年度に持ち越す世帯が260件。平成23年度までも同程度ある。

## 医療費増の原因

**【近藤議員】**  
医療費増加は、単純に高齢者増だけではない。65歳から69歳の医療費は平成20年度に比べ、平成24年度は47万円と1.5倍だが、原因は。

また、国保税を上げないために、医療費の抑制が重要だが、今後の方針は。

**【町長】**  
生活習慣病予防のため、町民の方々へ、食育・スポーツ運動と合わせて啓発活動に取り組む。

**【保健課長】**  
平成22年度、本町の健康診断結果で、BMI・血圧・血糖値が県平均より高いことが要因でないか。

**BMIとは？**  
身長からみた体重の割合を示す体格指数のこと。



# 岐路に立つスポーツ少年団 がんばれ! 大山JVC



今回の特集は、町内で活動・活躍する『大山ジュニアバレーボールクラブスポーツ少年団』の竹口啓二監督・選手・保護者に聞きました。

## 「団体競技で仲間を大切にしたい」

【保護者】バレーボールを始めたきっかけを教えてください。  
【保護者】姉の友だちから誘いがあり、本人もしてみたいと言ったからです。  
【保護者】園児のころからしたいと言っていました。  
【保護者】監督に勧誘されました。私も監督にお世話になりました。  
【保護者】きびしいのが嫌で勧誘を断っていました。6年生になり入部し、今は楽しいようです。



保護者を囲んで

【保護者】人前で声を出すことです。昨年よりは出ています。  
【保護者】仲間を大切に、相手の気持ちもわかり、ときには助け合ったりする気持ちを養ってほしいです。  
【保護者】家庭では教えられないことを教わっています。みなが同じ目標に向かえることです。

【保護者】技術がみるみるうちに上達しました。  
【保護者】家でゲームや友だちと遊んでいましたが、だらだらと過ごすことがなくなりました。  
【保護者】不満を口にすることはありませんか。  
【保護者】仲間意識や技術の向上のために合宿もしています。大会に出場するのにも参加費が必要です。他の団でも育成会の活動収益でやりくりをしています。きびしいです。

【保護者】姉は中学生になったからスポーツ少年団に戻りたいと言っています。中学校の部活動が物足りないようです。今入団している子どもは、自分で覚悟して入団したので何も言いません。  
監督は、勝負にこだわらずスポーツ少年団本来の活動を追求したいと願っておられるようです。  
【保護者】監督は勝るときには勝ちにいけます。子どもたちもそれがわかるように物足りません。保護者もそれを支えてあげます。いつも負けてはつまらない、勝ちたいと思っています。  
【保護者】がんばって、結果も出てきています。卒業生もよいと言っています。  
勉強にも身が入るようになりました。  
【保護者】宿題を必死でしています。バレーボールがしたいからですね。  
バレーボールに限らずスポーツ少年団に関して何かありますか。  
【保護者】町の補助金はありますが、子どもが減少し負担が大きいです。技術をみがかくために遠征にでかけるのも大切です。補助金がもう少し増えればと思います。



選手を囲んで

## 選手「合宿や笑うことも楽しい」

【選手】試合に出られることですか。  
【選手】「だいせんカップジュニアバレーボール大会」を開催されていますね。  
【保護者】今年で6回となります。兵庫・広島・岡山・鳥根県などから約25チームが大山町に集います。事務の全般は監督がしますが、会場設営を保護者がしています。

【保護者】仲間意識や技術の向上のために合宿もしています。大会に出場するのにも参加費が必要です。他の団でも育成会の活動収益でやりくりをしています。きびしいです。  
【選手】合宿が楽しみです。みんなで寝ることも楽しいです。  
【選手】練習をすること、みんなで笑うことです。  
【選手】試合で得点が入ること、ワンセットを取ることです。  
【選手】サーブが入ることです。  
【監督】練習で泣いている子どももいます。それを乗り越えることができるから楽しいと思いますね。

【選手】どちらもこわいです。  
【監督】3年生にはきびしいかな。どこかでそれを越えていかないといけないと思います。競争もしないとけないし、競争に負けても敵ではないと思います。勝てるようにも指導をするからこわく感じるのかな。  
バレーボールをしてよかったことは何ですか。  
【選手】からだが強くなりました。  
【選手】足が速くなりました。長距離走が得意になりました。  
【選手】体力がよくなりました。筋力がつきました。  
【監督】入団したときはおと

## 「子どもたちの思いを大切にしたい」

【監督】スポーツ少年団の方針は何ですか。  
【監督】子どもたちが好きで、縦のつながりで子どもたちも一緒に成長していければと思っています。自分がしてきたことを教えたいと思います。  
保護者に自分の教え子がいいます。指導をしていてよかったと思います。勝負だけにとこだわってはいません。



竹口監督

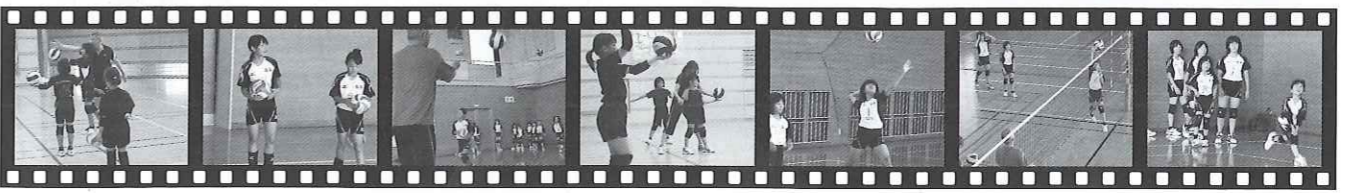
【監督】子どもたちが大きくなつたときに、「覚えておられますか?」と声をかけられることがうれしいです。  
中国大会に5回か6回、全国大会にも出場しました。一番にはなれないですね。勝負にこだわってはいませんが、勝手を望まないのは子どもたちもつらいと思います。新チームになったときに、全国をめざすか聞きます。めざすと言えれば、がんばろうから始まります。するからには勝ちたい気持ちもあります。とげさせようと努力もします。子どもたちの思いを大切にしたいです。やはり勝ちたいと思っています。  
現状はどうですか。  
【監督】人数が減り、同じ小学校だけではできなくなりました。移動がありますが、それでもしたいという子どもたちが集まっています。だから練習は、平日は少なくて、土・日曜にしています。

【監督】勝つことも、子どもたちは監督についていく、そして、保護者は監督を信頼し、協力的です。  
監督と子ども、保護者の間に、良好な人間関係が築かれています。練習風景や保護者の話から、それを実感しました。  
2代にわたって監督のお世話になっている親子もいます。バレーボールや子どもが好きとはいえ、長年のボランティア活動には敬服します。

## 取材を終えて

練習はきびしくても、子どもたちは監督についていく、そして、保護者は監督を信頼し、協力的です。監督と子ども、保護者の間に、良好な人間関係が築かれています。練習風景や保護者の話から、それを実感しました。2代にわたって監督のお世話になっている親子もいます。バレーボールや子どもが好きとはいえ、長年のボランティア活動には敬服します。

スポーツ少年団に関するお問い合わせは、大山町教育委員会社会教育課まで  
☎ 0859-54-5212 ☎ 0859-54-5217





野本克己 (坪田3区)

魚付き  
保安林

なじみの浅い言葉だと思いが、これは国の森林法にもとづいて指定された保安林で、ほとんどは海岸線付近に集中しているのが特徴です。

近年、山奥の森林の荒廃が進むにつれて、海へ流出する成分が著しく変化し、「磯焼け」つまり海岸の岩礁に海藻が生えなくなる現象が見られるようになりました。海の生態系が変われば魚類は生息できなくなり、稚魚も海藻がなければ育たない

このような状況のなかで、漁協では魚付き保安林を保護するため、雑草の下刈りをするなど地道な活動をしているようです。50年位前までは、中山地区の松河原、御来屋周辺、名和川付近から大雀までと延々と松の大樹が続いていました。魚付き保安林を気長に育て、海から受ける恩恵に感謝したいと思っています。



田中智子 (八重)

心に残った  
職場体験

私は役場の仕事を体験し、役場が町にとって、とても大切だと思いました。そして町の人たちが毎日役場に来ているのを見て、信頼されているんだなと思いました。

職場体験の4日間は農林水産課や地籍調査課や総合窓口課など、いろいろな分野の仕事を体験しました。最終日には議会の仕事を見ました。選挙が役場で行われていることを初めて知りました。何からなにまで旧中山町は役場に受け持たれていました。職員さんたちは見えない

ところでがんばっておられて立派だと思いました。最終日のお別れはともさみしかったです。中山支所が何年たっても変わらずにそこにあつてほしい役場だと思いました。働くことのたいへんさ、そして大切さを感じた職場体験でした。中山支所の農林水産課・地籍調査課・総合窓口課のみなさん、本当にありがとうございました。



矢田浩子 (大山)

おもてなしの心

縁あって大山寺の旅館で働き始め15年、大山の刻々と移り変わる木々のたたずまい、可憐な山野草、そして小鳥のさえずり……すっかり大山のファンになった私は、この環境で仕事ができてとても幸せです。

“癒し”とか“スピリチュアル”という言葉の通り、大山の素晴らしさをお客様にどう伝えるか、どう魅力をお客様にどう伝えるのか、自分なりに考えながら接しています。大山はお客様を引きつける自然

歴史そのものだけでも十分魅力がありますが、私たち大山寺にいる者の『おもてなし』がプラスとなり、より深く心に残ると思います。笑顔で挨拶することは接客の基本、ここに『心から』が加わり本当のホスピタリティになります。もてなす側のこの“心”が相手の“心”に響くよう私も大山寺の一員としてより一層努力していきたいです。

夏の木料海岸

あしがき

例年より早く梅雨入りした山陰地方。5月の終わりがら6月半ばまで、降雨のない日が続いた。紫陽花も色鮮やかな花びらを広げて天を仰ぎ、畑の野菜もじっと身を細めていた。

6月末は台風もあつて、一転雨続きになった。やっと恵みの雨が地面を濡らし、何人もほっと一息ついた。ないときには欲しがり、続けば厄介者。すべてがそうであるように、人の生きる姿によく似ている。

紫陽花がきれいな色に光るように、人は自分の生き方に色をつける。そんな紫陽花に重ね合わせ、負けない自分をつくりたいものだ。

米本

【発行責任者】

議長 野口 俊明

【広報常任委員会】

委員長 大森 正治

副委員長 米本 隆記  
委員 圓岡 伸夫  
委員 大村 正彦  
委員 大原 広巳  
委員 加藤 紀之